

音楽心理療法のための講習会

第2回「心や身体が表現していることに気づく」

対人援助をしている人や心のケアに携わりたい人を対象に、国内外から招聘するセラピストによる講習会です。今年は4名の専門家がファシリテーターとしてワークショップを行います。カウンセリングの技法や音楽活動は、「生きることがつらいクライアント」とどのように関わることができるのか、どのような助けとなり得るのか、ワークを通して理解を深めます。今回のテーマは「心や身体が表現していることに気づく」です。セラピーの学びは、まず自分を知るところから始まります。3日間のワークショップで内面を感じてみましょう。心理学を知らない人もご参加いただけます。

日時：2020年12月26日（土）— 28日（月）

当日受付 13:00 から・ 3日間ワークショップ 13:30-17:00（途中休憩あり）

会場：聖グレゴリオの家（西武池袋線・東久留米駅徒歩10分）

参加人数：各グループ8-12名

参加条件：18歳以上、3日間参加できる方、音楽療法やカウンセリングに興味のある方、演奏技術は問いませんが、支持的なグループ空間を他の参加者と共に築いていく意思のある方

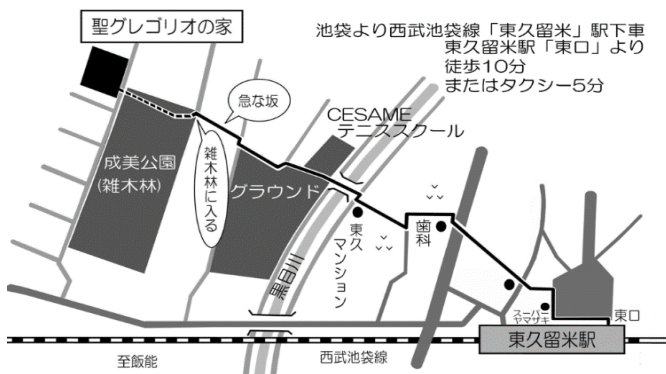
参加費：一般 27,500円（3日間受講料25,000円+消費税2,500円）

内部生 13,750円（3日間受講料12,500円+消費税1,250円）

持ち物：筆記用具、飲み物、マスク着用

申込先：聖グレゴリオの家事務室にFax・メール・郵送で受けつけます。

注意：新型コロナウイルス感染状況により中止、延期、オンライン開催に変更の場合があります。



聖グレゴリオの家 事務室
〒203-0004
東京都東久留米市氷川台 2-7-12
TEL：042-474-8915（月～金 9:00-17:00）
FAX：042-474-8832
Mail：info@st-gregorio.or.jp

ワークショップの紹介 13:30-17:00 (途中で休憩します)

グループ	テーマ・講師	内容
<p>A グループ (8名) C室</p>	<p>【グリーフケアの理論と実践】 (講師：前田節子)</p>	<p>人生の中で深い悲しみや喪失感を体験しない人はいません。Bereavementは愛する者との死別を意味します。あなたにとって愛とは、自分が死ぬとき、未完の喪失感、遺族のケア、回復のプロセスを考えましょう。</p>
<p>B グループ (10名) Joppich Zimmer</p>	<p>【自分の夢を分析する】 (講師：江夏亮)</p>	<p>夢はあなたにとって大事な何かを伝えようとします。その意味を自分で分析して理解するやり方を学ぶワークショップです。あなたが主役となって夢のメッセージを受け取れます。皆様のご参加をお待ちしています。</p>
<p>C グループ (12名) 音楽広間</p>	<p>【心から身体から奏でること】 (講師：鈴木琴栄)</p>	<p>コロナ時代を生きる私たちの生活は一変し、表現の機会は減少、自己表現そのものが委縮しかねない日々が続いています。このような時だからこそ心から身体から発し、奏でる音・音楽に耳を傾け、メッセージを受け取るワークの重要性は高まっています。ここでは入門的な分析的音楽療法の理論と実践に基づいて、声、楽器、即興音楽を用いたグループワークを行います。</p>
<p>D グループ (12名) 聖堂ロビー</p>	<p>【響く楽器としての自己を育てる 分析的音楽療法：こころとからだ の健康を探索する】 (講師：小宮暖)</p>	<p>音楽療法では健康な自己を良く響く楽器のように例えることがあります。自分を良く響く状態に調整して初めて他者の援助にも力を発揮することが出来るでしょう。養育環境によって生じやすい心身の脆弱性についての講義と実践的ワークからなります。セルフケア、対人援助スキル、〈内なる芸術家〉の養育といった関心をお持ちの方にお勧めします。</p>

講師紹介

前田節子^{まえだせつこ}：MBACP(英国カウンセリング・サイコセラピー協会) 認定カウンセラー、UKRCP(英国公認カウンセラー)。日本ゲシュタルト研究所にて通訳に従事した後、渡英。英国Place2Be、マリリボンカウンセリング・センター、ロンドン大学エグハム校の経験を積む。精神分析に基づく心理療法を踏まえた上で催眠、ゲシュタルト療法、イメージ・ワークを取り入れた手法を使ったカウンセリング、カップルズカウンセリング、グループセラピー及びスーパービジョンを行う。

江夏亮^{えなつあきら}：公認心理師、日本ゲシュタルト療法学会スーパーバイザー。東京大学卒業、1990年より米国トランスパーソナル心理学研究所を始め様々なトレーニングを受け、夢のセッションや講義も行う。1993年帰国後、心の健康相談室の代表を務め、心理学コンサルタントとしても幅広く活躍中。2004年から2018年までカリフォルニア臨床心理大学院（CSPP）日本校の准教授及び実習ディレクターを兼務する。代表著書は「自分でできる夢分析」

鈴木琴栄^{すずきことえ}：全米・日本音楽療法学会認定音楽療法士。ニューヨーク大学大学院音楽療法学科修士課程修了。レズリー大学表現アーツ療法科博士課程修了。2016年までモロイ大学音楽学部音楽療法学科講師、コロンビア大学付属病院児童・精神科に在職。現職、高知県早明浦病院勤務。NYノードフ・ロビンズ音楽療法センターにて上級資格を取得後、育成クラスの助教を務める。共著に『新しい芸術療法の流れ クリエイティブ・アーツ・セラピー』、共訳書に『音楽中心音楽療法』がある

小宮暖^{こみやだん}：米国認定音楽療法士（MT-BC）、分析的音楽療法士（AMT）、桐朋学園大学ピアノ科卒業、ニューヨーク大学大学院音楽療法科修士課程修了。高齢者施設、精神科クリニックなどで音楽療法士として勤務。横浜にて分析的音楽療法の部屋「音の庭」個人開業。音楽家・芸術家を対象とした分析的音楽療法のセラピーや講座を提供。桐朋学園、国立音楽大学 非常勤講師。音楽家の心身の健康に関する授業を担当。訳書：ケネス・ブルシア【編著】『音楽心理療法の力動』。著書『芸術家のための分析的音楽療法 ころろとからだの健康を探す旅』

2020年 音楽心理療法冬期講習会

申し込み用紙

- ご希望のグループに○をつけて下さい。

- () Aグループ：「グリーフケアの理論と実践」
() Bグループ：「自分の夢を分析する」
() Cグループ：「心から身体から奏でること」
() Dグループ：「響く楽器としての自己を育てる分析的音楽療法」

氏名（ふりがな）：

住所：

電話番号：

メールアドレス：

職業：

臨床音楽セラピスト養成科の受講者ですか？： はい ・ いいえ